

よう き そう 揚輝荘かわら版(第1号)

名古屋市では今後、城山・覚王山地区の魅力向上につながるように揚輝荘の保存活用を進めていく予定です。近隣のみなさまと情報を共有しながら取り組みを進めていきたいと考えていますので「揚輝荘かわら版」を発行して取り組み状況などをお伝えしていきます。本かわら版では揚輝荘と今後の整備計画についてお知らせします。

揚輝荘について

日頃より、揚輝荘の運営にご理解・ご協力を
いただきありがとうございます。
揚輝荘のニュースをお届けします。



揚輝荘は、大正・昭和初期にかけて(株)松坂屋の初代社長伊藤次郎左衛門祐民が建設した本市郊外別荘の代表作です。

昭和14年頃には、約1万坪の敷地に地形や周囲の自然を活かし、池泉回遊式庭園とともに30数棟の各種建造物がありました。戦争による被害や老朽化等の影響から敷地・建物のお大半が失われたものの、現在も主要な部分が残されており、平成19年に本市に寄贈されました。



ばんがろう
伴華楼 (原則非公開)



はくうんきょう
白雲橋 (原則非公開)



さんしょうてい
三賞亭 (原則非公開)

北庭園

しゅうがくいんりきゅう
京都の修学院離宮の影響を受けたと考えられる
池泉回遊式庭園



ざしき
揚輝荘座敷(原則非公開)

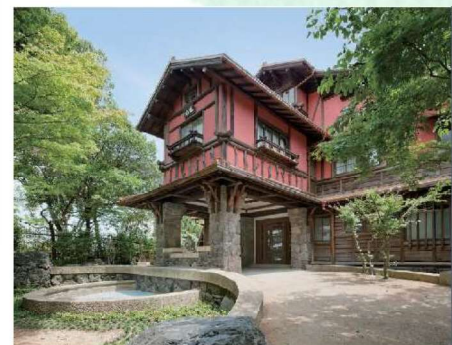


※建物や利用の詳細は上記二次元コードリンク先の
「揚輝荘公式ウェブサイト」よりご確認いただけます。



各建造物は市の
指定文化財です

南庭園 (水、土曜ガイド時公開)
回遊式の枯山水露地庭園



ちようしょうかく
聴松閣 (公開)

揚輝荘の保存活用について

名古屋市が令和6年度にとりまとめた整備計画の概要についてお伝えします



本市では聴松閣(南園)の公開後、有識者の懇談会を開催しながら、揚輝荘を今後どう保存活用していくか検討を重ねてきました。この結果とりまとめた揚輝荘整備計画では以下の目的、3つの全体方針とともに各園の整備方針等を掲げております。

目的

揚輝荘の文化財的価値を維持・継承しつつ、城山・覚王山地区の魅力向上・回遊性向上の拠点となる施設として揚輝荘の整備を推進し、日泰寺や城山八幡宮、覚王山商店街等と連携することで、地区全体の更なる活性化を図ることを目的とします。

全体方針

- ① 歴史的建造物と庭園が一体となって織りなす
揚輝荘の本質的価値の維持・向上を図る
- ② 四季の移ろいを感じながら、多様な文化に出会い
質の高い交流を楽しむことができる施設をめざす
- ③ 城山・覚王山地区の魅力向上・回遊性向上の拠点となる
施設をめざす

北園の整備方針

- ・修復整備された歴史的建造物と調和の取れた庭園を中心とした公開とする
- ・揚輝荘全体の入口機能を担うアプローチ及びバリアフリー動線を整備する

南園の整備方針

- ・揚輝荘を象徴する質の高い一対の建造物（聴松閣、座敷）を中心とした公開とする
- ・南園の顔として上質な広々としたアプローチを整備する

整備の順番

第Ⅰ期（済）

- ・聴松閣（南園）の修復整備



第Ⅱ期（今回整備）

- ・北園の整備（伴華楼除く）



北園の整備を今回実施します

第Ⅲ期以降

（次期整備以降）

- ・伴華楼、座敷、南庭園等の段階的な整備

北園整備の主な内容

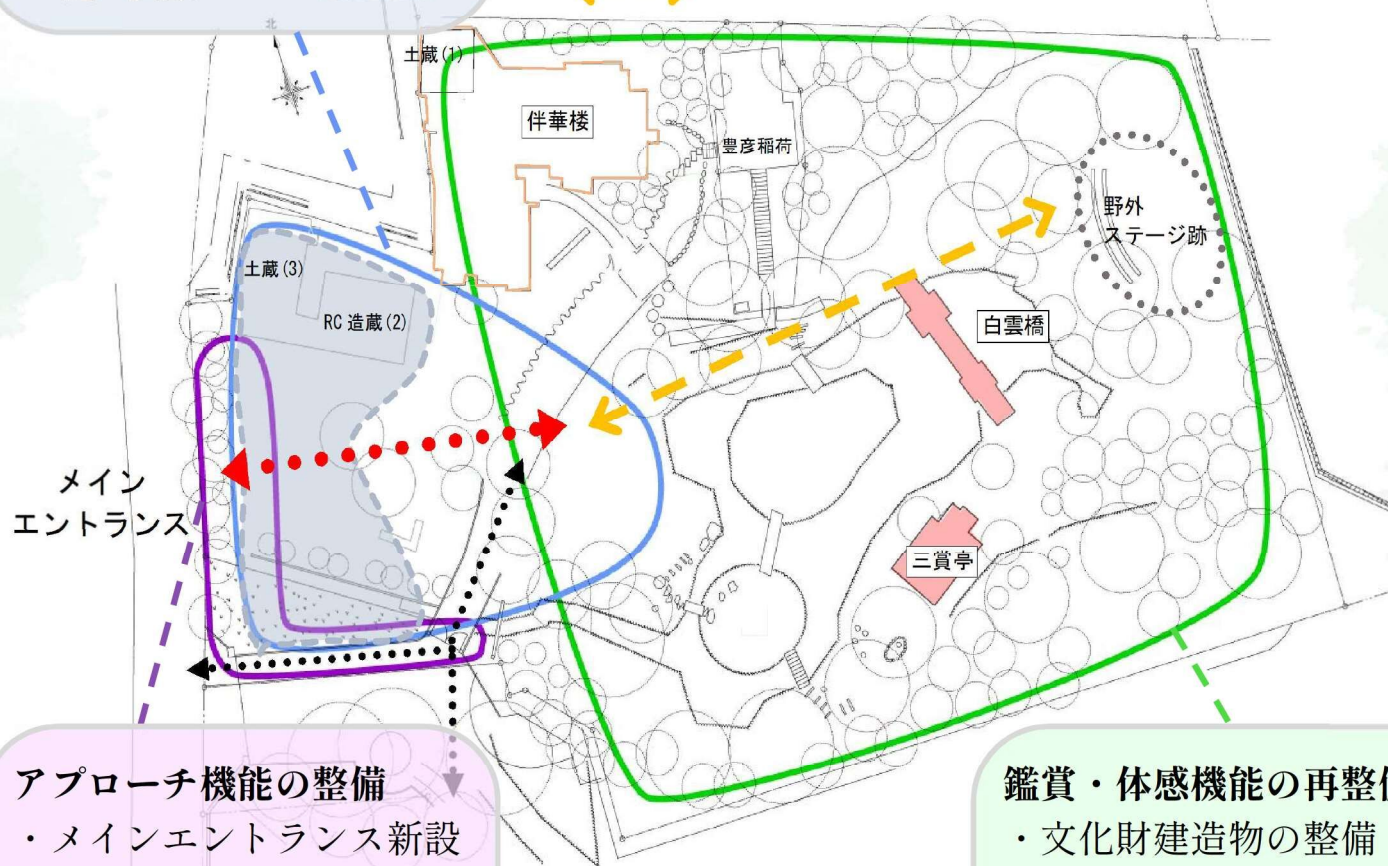
整備内容の詳細は今後公募する事業者の提案により決まりますが、以下の内容を含む予定です。

広場・交流機能の整備

- ・広場の整備
- ・便益施設(飲食等サービス施設等)の整備 など



- 文化財建造物の修復・整備
- 便益施設
- メイン動線（バリアフリー動線含む）
- サブ動線（既存動線）
- バリアフリーに準ずる動線



配置計画図

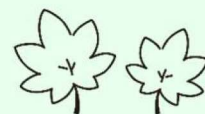
アプローチ機能の整備

- ・メインエントランス新設
- ・昇降機等の配置によるバリアフリー化 など



鑑賞・体感機能の再整備

- ・文化財建造物の整備
- ・樹木環境の改善
- ・池の水質改善
- ・園路の改善 など



スケジュール（予定）

令和7年度

令和8年度

令和9年度

令和10年度以降

事業者公募準備

事業者公募

設計・工事

リニューアル
オープン

今後の活用に向けた実証実験を行いました



今後の活用に向けた課題を整理するため、「揚輝祭」と題して、民間参加による実証実験（トライアル・サウンディング）を実施し、揚輝荘の空間の可能性、民間事業者のニーズや事業性などの検証を行いました(令和6年10月26日から11月3日)。

当日の様子を少しご紹介します。

- 将来的な日常風景をイメージしてベーカリーやカフェを日替わりで出店しました（計8店舗）
- 伴華楼テラスをカフェ出入口として利用し、1階の応接室や庭園などにテーブルやイスを設置しました



揚輝荘の屋外の雰囲気を活かした
幅広い世代が楽しめるワークショップを
開催しました

令和7年7月発行

発行者：名古屋市観光文化交流局歴史まちづくり推進課



052-972-2779



a2779@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp

本印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

